

自動ドア業界の最新トレンドを見る

特集 2023年度 定期総会



世界遺産：(スペイン)カタルーニャ音楽堂

JADA

Cover Story

JULY 2023 NO.119



スペイン / カタルーニャ音楽堂

カタルーニャ音楽堂は、スペインのバルセロナに位置する壮大なコンサートホール。カタルーニャの文化的象徴として知られ、カタルーニャ・ルネサンス（文芸復興運動）において指導的役割を果たした合唱団、ウルフェオー・カタラーのために建設された。

1905年から1908年にかけて建設され、1997年にユネスコの世界遺産に登録。毎年50万人以上の人々が交響楽や室内楽、ジャズ、伝統音楽などを楽しむためにこのホールを訪れている。美しい音響効果と印象的な外観で、いまでも多くの人々を魅了し続けている。

画：杉井洋一

Contents

2023年(令和5年)度 定期総会

会長のごあいさつ	4
事業活動報告	5
役員一覧	6
記者会見(質疑応答)	7
HOTLINE ●各委員会からのニュース	8～9
技能検定合格者発表	10
技術部合同会議報告	11
物語の中の自動ドア	12
JADA PROFILE ●フルテック株式会社	13
JADA Archive	13
賛助会員のページ ●ハードグラス工業株式会社	14
事務局から	15
私の故郷	16
2023年度スケジュール	16

2023年度定期総会

2023年6月14日、東京都港区のアジュール竹芝にて、2023年度定期総会が開催されました。

新型コロナウイルス 感染拡大以降、書面開催としていた定期総会でしたが、2023年5月から感染症法上の位置付けが、「5類」へ移行されたこともあり、今年度は4年ぶりに対面での開催

となりました。

2022年度の事業報告と決算の承認が行われ、その後、決議事項として、2023年度の事業計画案、予算案並びに交代役員に関する議案が附議され、議案書通り承認されました。



古野副会長



内田会長



(右から)吉田理事、高橋副会長、古野副会長



(左から)小崎理事、小野理事、三木理事、林理事



三木理事

業界の継続的な発展と 存在価値向上に寄与できるよう、 より活発な活動と努力を行ってまいります

全国自動ドア協会会長 内田 正則

皆様におかれましては、日頃から当協会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症も春先から漸く収束に向かい、5月の連休明けには感染症法上の位置付けが5類に引き下げられたことも踏まえ理事会での承認を得まして、4年ぶりに定期総会を対面で開催することができました。

改めまして、本日は、ご多用の折、2023年度定期総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、昨年度の日本経済は、軽症化したとは言え、新型コロナウイルス感染症の第7波・第8波による感染拡大とロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、原材料やエネルギー価格の高騰、そして、大幅な円安も追い打ちとなり、経済や業界のみならず、私達個人の生活にも影響を及ぼしました。しかしながら、いわゆる「日常」が徐々にコロナ前へと戻りつつあるのは間違いのないところであり、今後の経済安定へと繋がることを期待しております。

この様な状況下、2022年度の国内向け自動ドア据付台数は約129千台（前年比▲0.3P）、また、生産台数は141千台（前年比▲1.4P）とそれぞれ減少こそしましたが、前述いたしました数々の厳しいアゲインストを考慮しますと、むしろ大きな落ち込みを回避し、最低限の台数は確保できたのではないかと前向きに捉えております。

2023年以降の建設需要は、首都圏に偏りながらも増加傾向であると見据えておりますので、協会として環境の激しい変化に対応するべくインフラの維持に努め、社会的に必要不可欠な存在であり続けられるよう活動してまいります。

本年度、当協会としましては事業計画にもお示ししております通り、次の点を重視し活動してまいります。

安全性向上及び安全啓発事業として、JIS A 1551「自動ドア開閉装置の試験方法」ならびにJIS A 4722「歩行者用自動ドアセットー安全性」の改正に対応した運用マニュアルの見直しを行い、更なるJISの普及に努めます。

技術基準の制定・改定事業におきましても、同改正に対応するべく、自動ドア知識の改訂を行います。

今後の建設計画を踏まえ、市況調査及び需要拡大の活動を継続します。

自動ドアの適切な施工ならびに点検整備の必要性を広くご理解いただくと共に、安全・安心の提供のため、自動ドア施工技能士の育成と一層の充実に努めます。

自動ドアの事故件数は、近年は緩やかな減少傾向にありましたが、人流の回復と共に増加に転じております。アフターコロナとなる2023年度も引き続き注視していくと共に、事故原因分析を継続実施し、更なる安全性の追求を行います。

そして、会報やホームページを十分活用し、広報活動の充実を推進します。

最後になりますが、全国自動ドア協会では、会員各社が協力して様々な課題を掲げ、乗り越え、自動ドアによるインフラ維持、利便性向上、そして何より安全と安心の提供に取り組むことにより、業界の継続的な発展と存在価値向上に寄与できるよう、より活発な活動と努力を行ってまいります。

今後とも皆様のご協力を賜りたく、宜しく願い申し上げます。



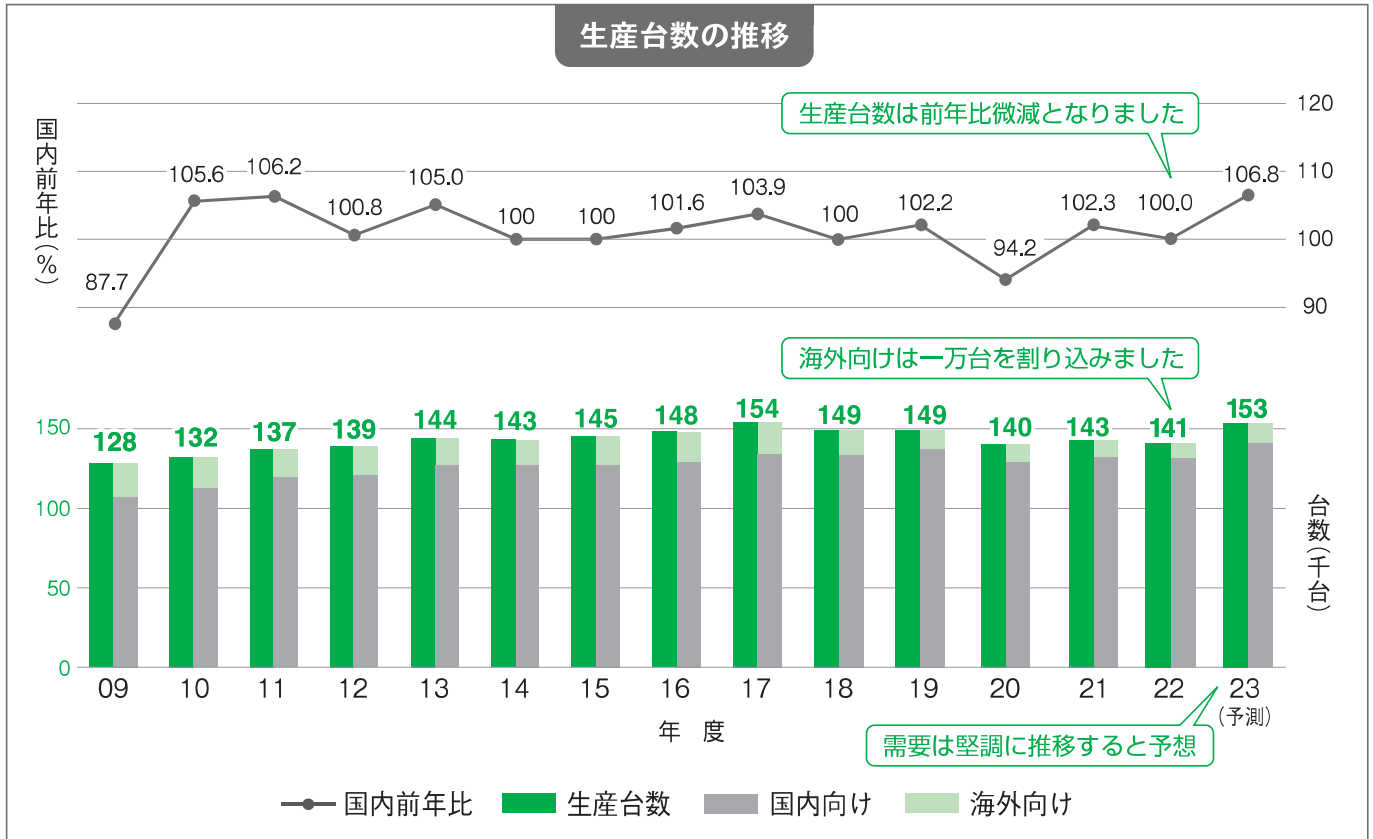
事業活動報告

2022年度の国内市場は、世界的な半導体不足による電子部品供給が滞った影響を受け、生産・据付台数ともに前年比微減となり、据付台数は3年連続して減少しました。また、海外向けは更にその影響が大きく、一万台を割り込みました。

自動ドアの需要動向

2022年度の自動ドア生産台数の実績

国内向台数 132千台/年(前年度比 100.0%) 海外向台数 9千台/年(前年度比 81.8%)
総生産台数 141千台/年(前年度比 98.6%)



■ 2023年度は半導体不足の解消により、電子部品の供給は回復に向かい、国内大都市圏における再開発や大型プロジェクト計画により、需要は堅調に推移すると予想され、国内向け生産台数141千台、海外向け12千台、総生産台数153千台としました。

2023年度	予測
国内向生産台数	141千台
海外向生産台数	12千台
総生産台数	153千台

自動ドアの安全に関する取組み

当協会は、自動ドアの安全確保に関する活動を重要な使命と考え、自動ドアの通行者の安全を実現するエントランス環境づくりのための研究と諸施策を継続して実施しています。

2022年9月に自動ドアの安全規格 JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット—安全性」が改正されたことを受け、当協会の JIS 準拠歩行者用自動ドアセット〈引き戸〉安全ガイドブックを改訂しました。また、バリアフリートイレ用安全ガイドブックを別冊として作成しました。

技術基準等の改定活動

JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット—安全性」が2022年9月に改正され、“便房用自動ドアセットの要求事項”、及び“子どもの指の引込みなどへの安全対策に関する追加要求事項”などが新たに規定されました。

改正に伴い、運用マニュアル：設計編（2017年版）、及び品質・施工・保全の三基準（2019年版）の見直し作業を行いました。また、建築工事監理指針令和4年版、建築改修工事監理指針令和4年版、建築保全業務共通仕様書令和5年版、及び同解説の改定にあたり、意見書を提出するなどの作業協力をおこないました。

● 自動ドア施工技能士の現状

厚生労働省認定国家資格である「自動ドア施工技能士」の2022年度技能検定試験が2023年1月から2月にかけて全国で実施され、2022年度は、244名が受検し、実技と学科を合わせた厳正な検定の結果、168名の合格者が発表されました。

これにより自動ドア施工技能検定試験の全国累計合格者数は、1級が3,985名、2級が4,007名となり、合計7,992名に達しました。施工技能士は、自動ドアの安全性を確保し、快適な性能を提供し、需要家の皆様の満足度を高め、自動ドアを利用する通行者の皆様の信頼をいただく上で大変重要な役割を担います。その認識を高めていただくため、全国自動ドア協会では2009年から優秀自動ドア施工技能士表彰制度を制定し、今年で15回目を迎え20名(累計312名)の方が表彰されました。

■ 自動ドア施工技能検定 合格者数

年 度	1級技能士	2級技能士	合 計
2021年度 検定合格者	90人	92人	182人
2022年度 検定合格者	95人	73人	168人
有資格者の 累計人数	3,985人	4,007人	7,992人

● 協会役員一覧(2023年度)

■ 会長

内田 正則

ナブコシステム(株)
代表取締役社長

■ 副会長

古野 重幸

フルテック(株)
代表取締役社長

■ 副会長

高橋 誠司

ナブテスコ(株)
取締役 常務執行役員
住環境カンパニー社長

■ 総務部会長 兼 広報委員長

吉田 毅

寺岡オートドア(株)
代表取締役社長

■ 技術部会長 兼 技術基準委員長

林 孝次郎

ナブテスコ(株)
住環境カンパニー 技術部長

■ 企画委員長

三木 敏生

ナブコドア(株)
代表取締役社長

■ 安全委員長 兼 自動回転ドア協議会委員長

小野 耕作

ナブコシステム(株)
上席執行役員
技術統括部長 兼 工務部長

■ 技能開発委員長

小崎 弘

扶桑電機工業(株)
執行役員 生産本部長

■ 事務局長

関尾 直人

全国自動ドア協会

■ 理事

伊田 展充

ハンダ技研工業(株)
専務取締役

■ 理事

熊井 善之

寺岡オート・ドアシステム(株)
常務取締役

■ 理事

寺岡 宏司

昭和オート(株)
常務取締役

■ 理事

直江 良憲

オリエント産業(株)
代表取締役社長

■ 理事

細山 健二

昭和建産(株)
代表取締役社長

■ 理事

宮澤 勇

平安通商(株)
常務取締役

■ 理事

森 利宏

北陽電機(株)
上席執行役員
エンジニアリング部長

■ 監事

鈴木 秀明

扶桑電機工業(株)
執行役員 営業本部長

■ 監事

谷 浩

フルテック(株)
常務執行役員 営業本部開発営業部長

● 退任のご挨拶

2006年5月から17年間理事を務められた有倉良則様が定期総会にて、退任の挨拶をされました。長い間協会活動にご尽力いただき、ありがとうございました。



質疑

Q & A

応答

定期総会終了後、別室にて記者会見が行われました。記者の方々の質問に対して、会長、副会長をはじめ、各委員長が回答しました。

Q アフターコロナで人流が増えることにより、事故件数も増加しています。改めて、事故増加の分析結果と業界の対応についてお聞かせください。

ガラス新聞社



A 人流に関しては、2020年5月頃が最も少なく、特に子供やお年寄りの外出が著しく減少しています。その結果、子供や高齢者による事故も減少しており、全体の件数も減っています。昨年はやや増加しましたが、過去の結果と比べるとかなり改善されています。

このような状況から、事故減少の取り組みは依然として重要な課題と考えています。特に最近ではセンサーの性能向上により、衝突事故がかなり減少しています。センサー不備によるエリアの狭い場所での事故も減少しています。

しかし、子供が遊んでいる最中に引き込まれたり、携帯電話を操作しながら通行したりする事故は増加しています。この点については安全委員会や消費者庁からの指摘もあります。



小野理事

Q コロナ対策の一環として、「手動ドア」から「自動ドア」への「非接触需要」があったと思いますが、この需要が今後どのように変化し、定着していくのかについて、どのようにお考えですか？

時報社



A 自動ドアは扉への物理的な接触を避けることができるため、コロナ禍において、公共の場や商業施設などでの使用が促進されました。今後は、特に室内の出入口についても自動ドア化の需要が増えていくことが期待されています。公衆衛生上のリスクが続く限り、非接触の需要は続いていく可能性があります。



Q これまで自動ドアのリニューアル市場は毎年上昇してきましたが、今回39.5%ということで、ここで少し頭打ちの状況となっています。「リニューアル案件はもう限界」とお考えですか？

時報社



A 当協会の評価としては、希望的観測も含まれますが「リニューアル市場は停滞したわけではない」と捉えています。

と云いますのは、リニューアル市場は会員各社が積極的に開拓している市場だからです。

各社の取り組み次第でさらに伸びていく市場だと考えており、積極的に取り組んでいくべきだと思います。



内田会長

Q 一番力を入れている安全対策についてお聞きします。「JIS対応の自動ドア」については、普及の割合は全体のどのくらいあるのでしょうか？

ミルト出版



A 現時点では、JIS対応の自動ドアの据付台数が何パーセントであるか、という具体的な統計データは持っていません。しかし、JIS対応製品の数が増加していくことは間違いありません。これにより、事故も徐々に減少していくことが期待されます。

JIS対応の普及の割合を台数だけで表すことはできません。例えば、自動ドアの開閉装置がJIS対応であったとしても、エンジンを組み込むアルミサッシがJIS対応でないというケースもあります。

自動ドアという製品は、複合的な構成部品で出来ており、駆動部やガラス、サッシなど、総合的に考える必要があります。



古野副会長

技術基準
委員会
より

性能規格制定の検討について

自動ドアセットの構成要素は自動ドア開閉装置（駆動装置及び検出装置）とドアセット（建具）に大別できます。

自動ドア開閉装置については試験方法に関する JIS 規格があり、建具を含めた自動ドアセットについては安全性に関する JIS 規格が制定されていますが、性能に関する JIS 規格は存在しておらず、公共建築工事標準仕様書などに規定されている状態であることから、JIS 規格の制定が求められています。そこで、今期の主要な事業計画として、性能規格制定の検討（性能項目などの詳細）に取り組みます。

優秀自動ドア
施工技能士

2023 年度 優秀自動ドア施工技能士表彰

優秀技能士 20 名を発表 !!

右記の方々は、厳正な選考の結果、全国自動ドア協会が表彰する2023年度の優秀自動ドア施工技能士に選ばれました。表彰は2023年6月14日の全国自動ドア協会定期総会に於いて行われました。



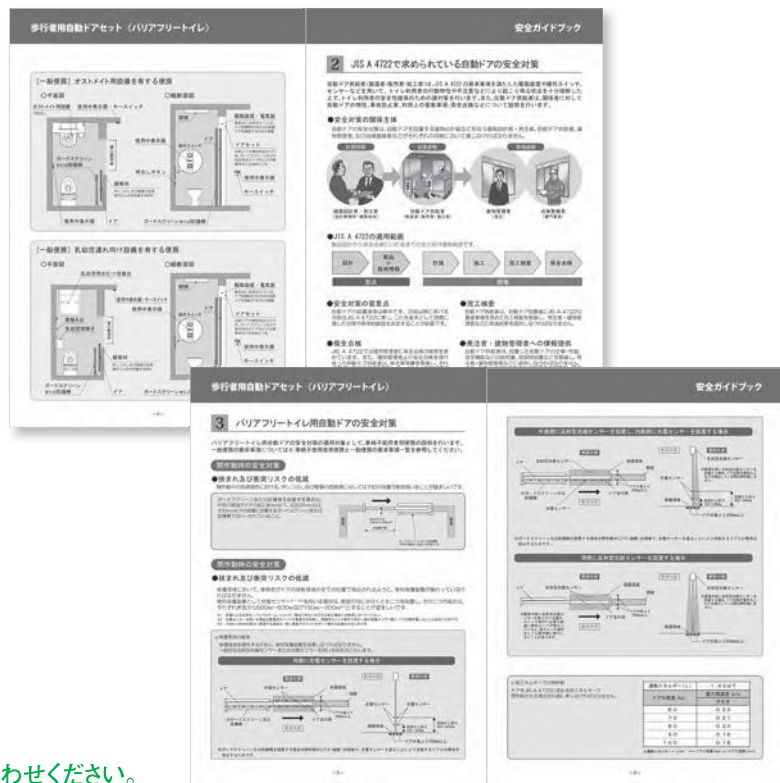
	氏名	推薦会社
1	大尻 真矢	フルテック (株)
2	田邊谷 肇	フルテック (株)
3	橘 薫	フルテック (株)
4	佐藤 祐希	フルテック (株)
5	小林 寛之	オリエント産業 (株)
6	斉藤 修	ナブコシステム (株)
7	佐藤 裕介	ナブコシステム (株)
8	河村 俊臣	ナブコシステム (株)
9	菅野 龍介	ナブコシステム (株)
10	小国 博之	ナブコシステム (株)
11	藤井 一志	ナブコシステム (株)
12	園田 夕樹	ナブコドア (株)
13	岡 俊宏	ナブコドア (株)
14	守田 誠	ナブコドア (株)
15	山田 隆司	ナブコドア (株)
16	畑賀 忍	寺岡オートドア (株)
17	清水 隆敏	寺岡オートドア (株)
18	阿部 修大	寺岡オート・ドアシステム (株)
19	野村 誠	寺岡オート・ドアシステム (株)
20	小菅 克彦	扶桑電機工業 (株)

(敬称略)

安全委員会
より

バリアフリー用 安全ガイドブックのご案内

自動ドアの安全規格「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット—安全性」の改正（2022年9月）により、バリアフリー用自動ドアが適用対象となったことに伴い、JIS 準拠歩行者用自動ドアセット（バリアフリー）を新たに作成しました。このガイドブックはバリアフリー用として、個別機能ごとに分散配置する車椅子利用者便房用自動ドアセット（多機能トイレ含む）、及び一般便房用自動ドアセットに適用します。



■ お申込みは、協会事務局へお問い合わせください。

広報委員会
より

JADA 創立50周年記念誌を鋭意制作中

来年4月、当協会の創立50周年を迎えるにあたり、「全国自動ドア協会50年のあゆみ」と題して、創立50周年記念刊行物を発行する予定です。

内容としては、自動ドアの歴史、技術、安全、技能検定のほか各委員会活動報告や、協会の思い出としてOB 役員の皆さまからの寄稿や、現任役員の座談会を計画しています。是非ご期待ください。



編集会議を行う広報委員会

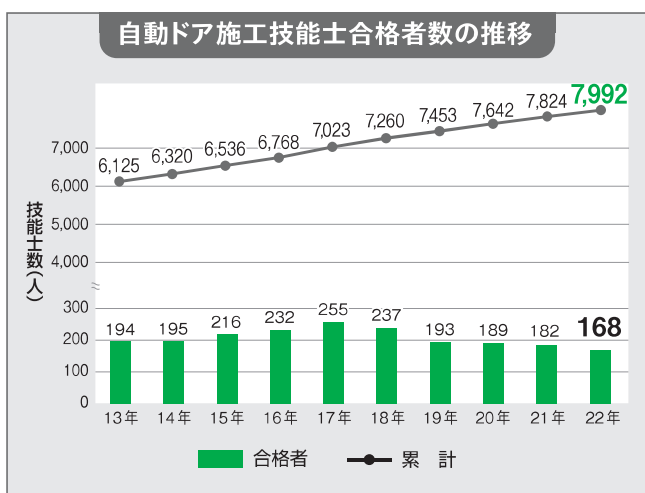
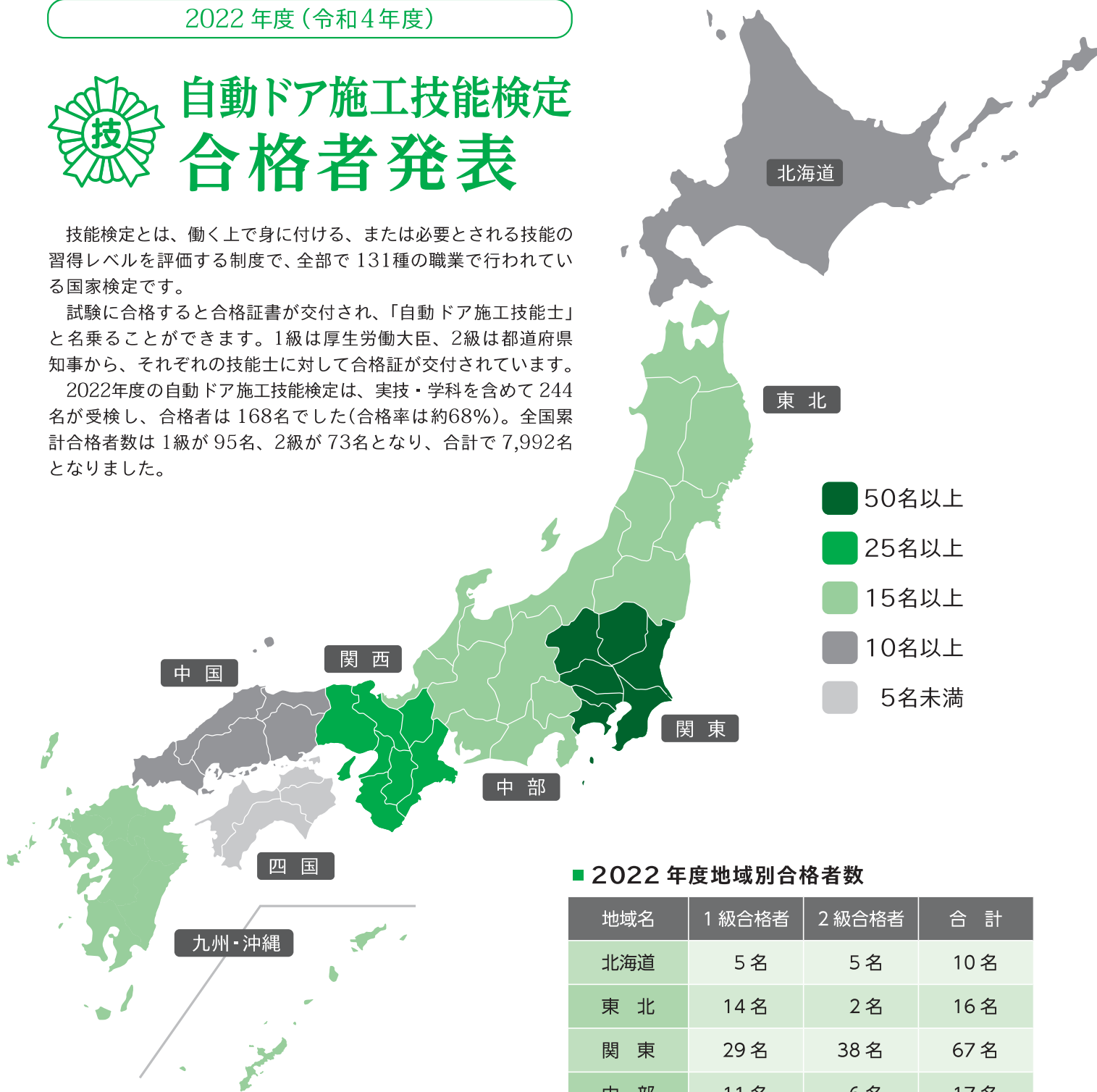


自動ドア施工技能検定 合格者発表

技能検定とは、働く上で身に付ける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する制度で、全部で131種の職業で行われている国家検定です。

試験に合格すると合格証書が交付され、「自動ドア施工技能士」と名乗ることができます。1級は厚生労働大臣、2級は都道府県知事から、それぞれの技能士に対して合格証が交付されています。

2022年度の自動ドア施工技能検定は、実技・学科を含めて244名が受検し、合格者は168名でした(合格率は約68%)。全国累計合格者数は1級が95名、2級が73名となり、合計で7,992名となりました。



2022年度地域別合格者数

地域名	1級合格者	2級合格者	合計
北海道	5名	5名	10名
東北	14名	2名	16名
関東	29名	38名	67名
中部	11名	6名	17名
関西	13名	13名	26名
中国	10名	1名	11名
四国	1名	1名	2名
九州・沖縄	12名	7名	19名

自動ドア施工技能士の試験について

国の定めた基準に基づいて、学科試験と実技試験が行われます。学科試験は文章の正誤を問う形式です。実技試験は1級・2級とも、自動ドア装置の取付・調整の作業を試験台にて行います。日程は、等級ごとに全国同時期に実施されます。

おおしめなわ
日本最大級の大注連縄の迫力に圧倒!!

扶桑電機工業株式会社 技術部 梅村 賢

5月18日、2023年度技術部会合同会議が、技術基準委員会・技能開発委員会・技能開発作業部会より各委員6社10名が出席し、島根県松江市の「松江市民活動センター会議室」で開催されました。

会議は、林技術部会長・技術基準委員長、小崎技能開発委員長、角山アドバイザー、二階堂事務局員らにより、2023年度技術部会事業計画、2022年度技術基準委員会・技能開発委員会の活動報告、2022年度技能検定結果、2023年度技能検定予定、2022年度防火設備用自動ドア開閉装置の出荷実績の報告などについてご説明いただき、充実した質疑応答・意見交換が行われ、会議は滞りなく終了しました。

その後には、賛助会員であるオプテックス様、ホトロン様にもご参加いただき、合同懇親会が行われ、日頃のライバル関係にある参加者も美味しい料理やお酒を前にすると会話が弾み大いに盛り上がりました。



中国電力島根原子力館

翌朝は小雨が降りしきるあいにくの天気でのスタートとなりました。チャーターバスで中国電力島根原子力館へ移動し、島根原子力発電所の概要や安全に対する取り組みをまとめた映像を視聴後、ガイドさんの説明を受けながら館内を見学しました。島根原子力発電所2号機の原子炉実物大模型の展示では、制御棒の動き出しから核分裂反応が起きる一連の流れが再現されており、原子炉内でどのようなことが起きているのかを見学することができます。制御棒など一時、テレビなどで盛んに耳にした言葉でしたが、その動きを間近で見られ大変興味深い経験となりました。展望コーナーに案内された頃には雨も上がっており、島根

原子力発電所はもちろん、日本海や宍道湖、城下町松江の町並みなど、各々写真を撮ったり景色を楽しむことができました。

ひのみさき
昼食後は、島根半島の最西端に立つ日御碕灯台に向かいました。石造では日本一の高さ(塔高43.65m)を誇る白亜の灯台で、世界の歴史的灯台百選や国指定重要文化財に選



日御碕灯台

ばれているそうです。展望デッキから望める日本海の景色を楽しみにしていましたが、残念ながら改修工事のため灯台の参観はできませんでした。それでも、日御碕神社をはじめ、日御碕の海岸線を散策し、自然が造りだした絶景を時間いっぱいまで堪能することができました。

最後に、神々の国と呼ばれる出雲の象徴でもある出雲大社を参拝しました。神楽殿には言わずと知れた日本最大級の大注連縄(長さ13.6m、重さ5.2t)があり、初めて目の当たりにすると、その迫力に圧倒されました。その後、御本殿のお参りを済ませ、皆それぞれの時間を過ごしました。ちなみに“いづもたいしゃ”ではなく、正式には“いづもおおやしろ”と読むそうです。

その後、JR出雲市駅および出雲空港に移動し、今年の技術部会合同見学会は終了しました。エネルギー資源が乏しい日本において、昨今の燃料価格の高騰が私たちの生活に与える影響も大きくなってきている現在、原発の今を知り、これからを考えるよい機会となりました。また、島根の自然や歴史に触れ、大変充実した見学会となりました。

この度の合同会議と合同懇親会の開催、その後の合同見学会の企画から引率まで実施いただきましたJADA事務局の皆様にはこの場を借りて御礼を申し上げます。ありがとうございました。



出雲大社にて
(最後列左端が筆者)

物語の中の自動ドア

第12回

JOKER ジョーカー
2019 米国映画

主人公のアーサーは心身に問題を抱え社会的に孤立する大道芸人。TV コメディショーの大ファンで番組出演に憧れながらも、現実では満足な仕事につけず年老いた母と2人暮らしで貧困に苦しむ日々。ある日アーサーは、同僚から護身用の銃を半ば強制的に受け取る。それを仕事の現場でうっかり落とし、職を失ってしまう。落胆するアーサーは、電車で乗り合わせた会社員3人に絡まれ、もみ合い興奮するうちに…。

主人公アーサーは
急に笑ってしまう持病のせいで
社会に馴染めない

たが今、わかった
僕の人生は喜劇だ

HAHAHA
HAHAHA

人生は悲劇だ
と思っただ



聞き込みに来た刑事



出口専用
だぞ

やる事なす事
何かズレちゃう



イラスト/コハラアキコ

ストレスは
限界を超えて
何かかはじける!!



ピエロ
道化師から
JOKERへ

映画『ジョーカー』は2019年に公開され、主演のホアキン・フェニックスは本作で第92回アカデミー賞の主演男優賞を受賞しました。

自宅で銃を構えるシーンや、TVショーへの憧れと妄想が交錯するシーンなど、本作にはマーティン・スコセッシ監督の映画『タクシードライバー』と『キング・オブ・コメディ』へのオマージュが度々登場します。この2作品の主役を務めたロバート・デ・ニーロは、アーサーが憧れるTVスターとして『ジョーカー』で重要な役割を果たしており、物語に深みを与えています。

ジョーカーというキャラクターは、アメリカン・コミックの『バットマン』に登場する有名な悪役ですが、本作では設定や描き方が既存の作品とは全く異なります。この物語のジョーカー

は悪のカリスマではなく、正義のヒーローも登場しません。障害を抱える主人公アーサーが社会から爪弾きにされ、ピエロから“ジョーカー”へ変貌する様を通じて、孤独や差別、格差、暴力といった現代社会が抱える問題をリアルに描いています。

誰からも相手にされず「自分が存在するのかわからなかった」と感じていたアーサーは、悪に手を染めた後、自分自身の存在にやっと気がついたと語ります。しかし、その後のシーンで自動ドアがアーサーに反応しません(実際には一方通行だった)。アーサーは、出口専用とは気がつかずに自分の存在を確かめようと必死にドアを開けようとします。何気ない場面ですが、社会的弱者であるアーサーの不安な心情が、自動ドアによって表現された印象的なワンシーンです。

フルテック株式会社 Fulltech

〒060-0013 札幌市中央区北13条西17丁目1番31号
URL : <https://www.fulltech1963.com>

弊社は、1963年に北海道札幌市にて創業し、今年11月に創業60周年を迎えます。

自動ドアの製造や販売・設計・施工メンテナンスを社内一貫体制で行うことを強みとし、常に新しいことにチャレンジし続ける企業として、その販路を北海道から東北、関東へ拡大し、2021年には未進出エリアであった九州に福岡支店を開設しました。

また、関連商品の開発にも力を入れ、IoT技術を応用した遠隔モニタリング保守サービス『Fi-R (エフアイリモート)』や、モニター表示や音声の組み合わせと非接触スイッチで操作性の向上と衛生対策を実現させたバリアフリートイレスイッチ『ソーシャル アイ』また、音声やスマートフォンの画面で自動ドアの電源操作や開閉操作が可能な『ボイコンドア』を市場に送り出しています。

今後も引き続き、当社はおお客様の安全で快適なアクセスとアメニティー作りをサポートする企業として全社員で取り組んでまいります。



本社 外観



ソーシャル アイ

会社概要

代表者	古野 重幸(代表取締役社長)
設立	1963年11月2日
事業内容	自動ドア装置の販売・施工・保守サービス、及びステンレスサッシ・製作金物製造販売他



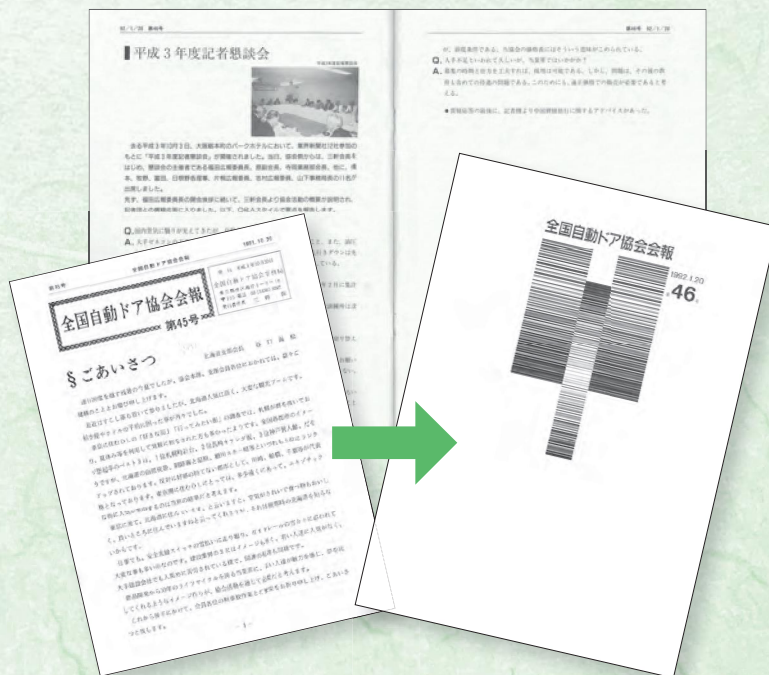
1991～92年(平成3～4年)、国内では度重なる台風の被害や雲仙普賢岳の噴火など、自然災害が目立った年でした。

海外では、ソビエト連邦の崩壊や東ヨーロッパ諸国の動乱など、民主化の波が共産圏諸国へ広がり、歴史的な大改革が行われようとしていました。

全国自動ドア協会は、新年に合わせて、1992年(平成4年)1月号に初めて会報誌のリニューアルを行いました。装丁や用紙が改善されたことに加え、シリーズ物の新企画が2本スタートし、内容も拡充されました。

会報は、会員との関係を深めるツールとして、また協会活動を記録するアーカイブ的存在として、重要な役割を担い続けています。

平成4年、JADA 会報誌が初めてのリニューアル



会報第46号(1992年1月20日発行)

やさしい光を探り入れる

HARD PAIR GLASS

ハードペアガラス

伊丹市庁舎 2022.11 内容: Low-E5+A12+FL8 : 860 m² Low-E : AGC ピュアクリア 総m²数 : 2,600 m²



ハードグラス工業では『安全ガラス+機能ガラス』の組み合わせによる製品開発と供給を目指しています



地域未来牽引企業



JQA-QMA16376
JQA-EM7694



MS
CM009
本社・本社工場(第1・第2工場)



ハードグラス工業株式会社

URL <https://hardglass.co.jp>

本 社 〒664-0831 伊丹市北伊丹7-79 Tel.072(784)3671 Fax.072(770)7400
東 京 支 店 〒141-0022 東京都品川区東五反田1-21-13 Tel.03(5420)5911 Fax.03(5420)5912
(ファーストスクエア五反田9F) E-mail:hard.tokyo@rice.ocn.ne.jp E-mail:hard11@dream.com (設計)

札幌営業所 Tel.011(386)1651 / 仙台営業所 Tel.022(762)7338 / 埼玉営業所 Tel.048(633)4120 / 名古屋営業所 Tel.052(307)4680 / 福岡営業所 Tel.092(291)6510

事務局から

● 被表彰者

6月6日、永年にわたり技能検定の推進に尽力されたことに対して、東京都職業能力開発協会より、技能検定委員1名に感謝状が贈られました。



(株)神奈川ナブコ

小泉 秀揮

東京都職業能力開発協会より

● 新理事のご紹介



伊田 展充 理事

ハシダ技研工業株式会社 専務取締役

〈略歴〉

昭和51年 5月生

平成14年 ハシダ技研工業株式会社 入社

平成28年 取締役

令和 4年 現職



熊井 善之 理事

寺岡オート・ドアシステム株式会社 常務取締役 東京支店長

〈略歴〉

昭和28年 1月生

平成21年 寺岡オート・ドアシステム株式会社 入社

平成21年 取締役 東京支店長

平成27年 現職

編集後記



本年は4年ぶりに定期総会を開催することができ、多数の会員の皆さまにご出席いただきありがとうございました。新型コロナ禍に振り回されたここ数年ほど、あたりまえの日常をこれほど大切だと実感した日々はありませんでした。

過ぎてしまえば過去のことですが、一日一日がかげがえのない貴重な時間であると心からそう思います。今年も折り返し地点をとうに過ぎましたが、何かをやり遂げたとと言えるよう頑張りたいものです。

(N.S)

My Home Town
ふるさと
わたしの故郷

全国自動ドア協会 理事
(オリエント産業株式会社)

直江 良憲

金沢



私の出身は、石川県金沢市です。金沢は、戦国時代に加賀一向一揆の拠点として金沢御堂かなざわみどうが築造され、その周りに町が

つくられたのが始まりとされます。その後、織田信長に仕えた前田利家は、加賀、能登、越中を合わせた加賀百万石の城下町を築きました。幸いにも戦災を免れ、金沢城や大名庭園である兼六園、そして茶屋街など、歴史的な建造物や町並みが今なお残っております。

金沢には「弁当忘れても傘忘れるな」の言い伝えがあるくらい晴れ、雨、曇り、時には雷と天気が変わりやすいのが特徴です。お立ち寄りの際はどうぞ傘を忘れずに。



兼六園



ひがし茶屋の古い町並み

全国自動ドア協会 2023年度スケジュール (2023年4月~2024年3月)

	2023年										2024年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総会等			14日 定期総会			28日 研修会					15日 賀詞交歓会		
幹部会		11日			22日			8日			2日		
理事会		22日				14日		29日			15日		
企画委員会	26日			19日			25日			15日			
安全委員会	24日			27日			25日			22日			
広報委員会	27日			6日			25日		20日				
技術部会		18日											
技術基準委員会	14日		20日	25日		11日	17日	16日	15日				
技能開発委員会					25日							29日	
技能開発作業部会		12日	9日	6日	4日	8日			1日			1日	

※新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえて、適宜 WEB や書面形式による開催をおこなっております。

JADA
全国自動ドア協会

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
TEL 03-3436-3287 FAX 03-5473-9576
Eメール: jadainfo@pastel.ocn.ne.jp
URL:

全国自動ドア協会 (Japan Automatic Door Association) は、1974年4月に発足。自動ドアの製造およびその販売会社で構成され、社会に快適で安全な自動ドアを提供することを目的とした民間の団体です。

発行責任者: 広報委員長 吉田 毅
編集・制作: (株)グループ・ティー
発行月: 令和5年7月

本誌の内容は、JADAのHPでも閲覧いただけます(発行日より約2年間)

